

サステナブルなコーヒー を知ろう！



この地図の意味は？

上のコーヒーマークは、「フレンドシップコーヒー」豆を生産する農家を表しています。これらコーヒー豆の生産者は、十分な教育設備がない途上国の**貧しい村**に住んでいます。コーヒー豆は市場価格の変化が大きいため、貧しい村の生産者たちは**安定した所得**を得ることができず、**教育**のためにお金を使うことができません。

そこでキヨーワズ珈琲は、タンザニア、タイ、ネパールの村人たちが丁寧に作った高品質なコーヒー豆を日本のお客様に提供し、その利益の一部を**村に還元**する「フレンドシップコーヒー」を販売しています。

コーヒーの利益を**貧しい村の教育設備の整備**に使うことで、「コーヒー一杯からみんなを幸せにする**友好支援の輪**を広げよう」という取り組みを地図で表しました。

フェアトレードを知っていますか？

この取り組みは、“**フェアトレード**”と同じ仕組みです。最近はフェアトレードマークの付いた商品を扱う店舗も増えており、名前を知っているという人もいるのではないでしょうか。

実はフェアトレードは、**持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)**ととてもつながりの深い取り組みなんです。この機会に、フェアトレードについてもっと深く知ってみませんか？

裏面では、**フェアトレードについてや、実際の生産国**の様子、**コーヒーとSDGs**のつながりをご紹介します！

裏面に行く前にチェック!
SDGsって？

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年の国連サミットで採択された2016年～2030年までの国際目標です。**持続可能な世界を実現**するための17のゴール・169のターゲットから構成され、**地球上の誰一人として取り残さない**(leave no one behind)ことを誓っています。



このマークが目印！

なんとコーヒーの収穫
は手作業！裏面でもっ
と詳しく知ってみよう！



コーヒー農家を見学してみよう!(in タンザニアルカニ村)



} 高木
} バナナ(中木)
} コーヒー

ここは森林!
まるで森のようなコーヒー農場!
農場といえばコーヒーの木だけがズラっと並んでるんじゃないの、と思う人も多いでしょう。実は、コーヒーの木は直射日光を嫌うため、ある程度の木陰が必要なんです。そこでルカニ村の農場では、バナナの木などの高木・中木と一緒にコーヒーの木を植えています。環境に配慮した「アグロフォレストリー」と呼ばれる農法の一つです。この農法は生物多様性が保全されたり、家畜の飼料となるバナナの皮の生産が同時にできたり、地力を維持して化学肥料を利用せずにすむため、持続可能な生産方法として知られています。

コーヒーの実の色は赤色なんですよ!
知っていましたか?



手作業で赤い実だけを丁寧に収穫!

世界一のコーヒー生産国・ブラジルの大規模な農場においては、機械によって一気にコーヒー豆を収穫することが一般的です。しかし、それではコーヒーの実を傷つけるだけでなく、まだ熟していない実まで収穫されてしまい、質の悪いコーヒーになってしまいます。

ルカニ村のサステナブルなコーヒー豆の生産を行う農家では、質の良いコーヒー豆を提供するため、**収穫はすべて手作業**です。収穫期になると週末に、家族総出で収穫作業を行います。

公平な取引によって利益が農家に還元されることで、こういった**貧しい農業者たちの暮らしを支える**ことができるのです。

また、還元された利益の一部は教育機関の建設に使われます。

これによりルカニ村の子供たちは**実験設備の使用や高校への進学**など高度な教育を受けることができるようになりました。



もっと詳しく知ってみよう!

フェアトレードを知ろう~公平な取引って?~

驚くほど安い価格で販売されている食料品を見たことがありませんか?生産国ではその安さを生み出すため、**正当な対価が生産者に支払われなかったり**、生産性を上げるために**必要以上の農薬が使用**され環境が破壊されたり、生産する人の**健康に害を及ぼしたり**といった事態が起こっています。

生産者の**労働環境や生活水準が保証**され、また**自然環境にもやさしい配慮**がなされる持続可能な取引のサイクルを実現するための貿易の仕組みを「**フェアトレード**」といいます。フェアトレードでは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、**立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立**を目指します。

国際フェアトレードでは、生産側の経済的・社会的・環境的に持続可能な生産と生活を支える「**フェアトレード最低価格**」と生産地域の社会発展のための資金「**フェアトレード・プレミアム(奨励金)**」を生産者に保証しています。

出所) FAIRTRADE JAPAN https://www.fairtrade-jp.org/about_fairtrade/intl_standard.php

コーヒーはSDGsとのつながりがたくさん!

サステナブルなコーヒーは、SDGsと具体的にどのようなつながりがあるのでしょうか。つながりが深い4つのゴールに絞って見てみましょう!



1, 貧困をなくそう
生産者に利益の一部を還元することで、生産者の生活水準を上げることにつながります。また、価格変動の影響を受けずに済むので、安定した所得を得ることにつながります。

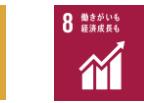


4, 質の高い教育をみんなに
農村は、還元された利益を教育機関の建設に用います。これによって勉強の機会に恵まれなかつた農村の子供たちは、教育を受けることができるようになります。



2, 飢餓をゼロに

働きがいも
経済成長も
15, 陸の豊かさ
守ろう



15, 陸の豊かさ
守ろう

このように私たちがサステナブルなコーヒーを飲むことによって、生産国の環境を守り、かつ生産者を助けることができます。一杯のコーヒーには生産者の思いや生産地域の子供たちの思いなど、たくさんの思いが詰まっています。

今コーヒーを飲みながら、もしくはコーヒーを飲み終わった人は次コーヒーを飲むとき、この奥深い話を少し思い出してください。きっとそのコーヒーの味は、もっと味わい深く感じられるはずです。



10, 人や国の不平等をなくそう
生産者は十分な利益の還元を得られないことが問題です。しかし先進国の消費者が、利益の一部を途上国の生産者に還元することで、途上国と先進国の富の差を縮めることにつながります。



17, パートナーシップで目標を達成しよう
消費者が貧しい生産者のために、少し高いお金を払うことで生産者の暮らしは安定します。持続可能な社会を作っていくためにも私たち消費者の理解と協力が必要です。

ほかにもつながりが深いゴールがたくさん!
左の3ゴールは具体的に
どんなつながりが考えられるでしょうか?
ぜひ考えてみましょう!



「つづくプロジェクト」とは?

エコ～るど京大がBRANCH松井山手を舞台に、地域の皆様とSDGsに関するイベントを開催するプロジェクトです。難しそうに聞こえますが「楽しい!おもしろい!」を第一条件にイベントを展開していきます。BRANCHの商品の良さを知ることができたり、家族みんなで学べたり、参加すると生活が豊かになったり…松井山手の皆様にとって有意義なイベントになるよう、尽力していきます!

また夏休みには「つづくプロジェクトVol.3」を開催予定!



ここにちは!エコ～るど京大です!

エコ～るど京大は、京都大学の教職員と学生有志が主体となり、誰もが参加できるイベントを通じた環境意識の向上を目指して活動しています。
詳しくは右のQRコードをチェック!

また、Twitter/facebook/Instagramでも情報発信を行っています!気軽にフォローしてください!

Twitter: @kusu_chan
facebook: 京都大学 エコ～るど京大
Instagram: ecorudokyodai



監修:京都大学農学研究科
辻村英之教授からひとこと!

私は1993年に初めてルカニ村を訪問し、村民の暖かさや優しさに強く惹かれました。96年以降はほぼ毎年、同村に1~2週間滞在し、コーヒーの流通、農協、農家経営などの調査研究を続けております。エコ～るど京大によるルカニ村のコーヒーとフェアトレードの魅力の説明が、コーヒーの味わいをより引き立てることになるでしょう。ぜひお楽しみください。

